

北九州市立大学大学院 国際環境工学研究科

一般選抜・社会人特別選抜 冬期日程

博士前期(修士)課程 学生募集要項

2021年度 4月入学



目次

| | |
|--------------------------------------|----|
| 《アドミッションポリシー》 | 1 |
| 1. 実施日程..... | 4 |
| 2. 募集人員..... | 4 |
| 3. 出願資格 | 5 |
| 4. 出願手続..... | 6 |
| 5. 選考方法および試験科目 | 10 |
| 6. 試験会場..... | 13 |
| 7. 受験上の注意 | 13 |
| 8. 合格発表..... | 13 |
| 9. 入学手続 | 13 |
| 10. 入学に関する経費 | 14 |
| 11. 授業料..... | 14 |
| 12. 長期履修学生制度 | 14 |
| 13. 安全保障輸出管理について..... | 15 |
| 14. その他..... | 15 |
| 《授業科目の概要》 | 15 |
| 《各専攻における履修コースの教育研究内容・特別研究指導教員》 | 20 |
| ○環境システム専攻 | |
| 資源化学システムコース..... | 21 |
| バイオシステムコース | 22 |
| 環境生態システムコース..... | 23 |
| ○環境工学専攻 | |
| 機械システムコース..... | 24 |
| 建築デザインコース..... | 25 |
| ○情報工学専攻 | |
| 計算機科学コース | 26 |
| 融合システムコース..... | 27 |

●環境システム専攻

| コース名 | 求める学生像 | 求める能力 | | |
|----------|---|---|--|--|
| | | ①知識・技能 | ②思考力・判断力・表現力等の能力 | ③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 |
| 資源化学システム | <p>○エネルギー・環境・資源をはじめとする科学分野に関心を持ち、大学院で修得する知識・論理を基に、化学・環境技術者としてより高い視点から活躍を志す人</p> <p>○大学で学んだ知識を基礎とし、大学院での高度かつ専門的な知識・論理の修得を目指している人</p> | <p>○より専門的な科学技術を学ぶ上で基礎となる化学・環境工学に関する知識を身につけている。</p> <p>○エネルギー・環境・資源に関するより多様な専門的な学修のため、大学までに得た知識を応用できる力を身につけている。</p> <p>○日本語あるいは英語に基づいたコミュニケーション能力を有している。</p> | <p>○エネルギー・環境・資源をはじめとする諸分野における課題の本質を見抜き、その重要度・緊急性に応じて、解決策を講じる優先順位を判断する力を身につけている。</p> <p>○エネルギー・環境・資源をはじめとする諸分野における課題への解決策を、論理的に複数の可能性を考慮した上で導き、それを他者に明確に伝える力を身につけている。</p> | <p>○エネルギー・環境・資源をはじめとする科学分野に強い関心を持ち、多角的・総合的な視点から、自己の向上を志して、積極的に学ぶ意欲と行動力を持っている。</p> <p>○自己の専門・非専門を問わず、他者との協議・討論を通して課題解決の手法を見出し、協働により課題解決ができる力を身につけている。</p> |
| バイオシステム | <p>○化学と生物学を基盤とした、環境・生命・医療などに関する高度な専門的知識の習得を目指している人</p> <p>○環境・生命・医療などの分野における国際的な場で活躍できる高い能力を身につけ、社会に貢献したい人</p> | <p>○バイオシステムに関する専門的知識を獲得する上で必要な生命科学、環境科学に関する基礎学力を有している。</p> <p>○化学・生物・物理実験・調査、数理解析などを通して、環境、社会や生態系に配慮しながら技術開発を進める基本的技能を身につけている。</p> <p>○日本語、英語に基づいたコミュニケーション能力を有している。</p> | <p>○環境・生命・医療などの分野における様々な課題を理解し、思考発展させ、得られた結論を適切な方法で表現する能力を身につけている。</p> | <p>○環境・生命・医療などの分野における諸問題に対して、他者と協力して相互に啓発し合いながら課題解決を図る姿勢を有している。</p> <p>○多様なグローバルな視点から、社会に貢献しようとする意欲を持っている。</p> |
| 環境生態システム | <p>○地域やアジア諸国をはじめとする発展途上国における環境社会システム構築のために活躍できる高度専門職業人および研究者を目指している人</p> <p>○持続可能な社会構築のため高度な専門的知識の習得を目指している人</p> | <p>○環境調査、環境計画、生態系管理の基礎となる自然科学および数理分野の基礎的学力を有し、環境社会や自然共生社会の構築に寄与できる創造的・実践的知識の素養を持っている。</p> <p>○社会・環境フィールド調査、環境シミュレーション、環境マネジメントに関わる専門的スキル・手法を使って問題を解決する能力の素養を持っている。</p> <p>○日本語あるいは英語に基づいたコミュニケーション能力を有している。</p> | <p>○現実の環境問題に柔軟に対応し、地域・国土のみならず国際環境社会の中で広い視野をもって問題に対処できる思考力と判断力の素養を持っている。</p> | <p>○環境問題に関わる資源、エネルギー、自然生態系、経済、経営などの分野にも関心を持ち、高度な研究を実践する素養を持っている。</p> <p>○地域や企業、行政など関係する機関と協力して環境問題の解決に自律的に取り組む素養を持っている。</p> |

●環境工学専攻

| コース名 | 求める学生像 | 求める能力 | | |
|--------|---|--|---|---|
| | | ①知識・技能 | ②思考力・判断力・表現力等の能力 | ③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 |
| 機械システム | <p>○環境負荷の低減と経済発展の両立を“持続可能な開発”と捉えるとともに、グローバルな視点を持って活躍できる機械技術者・研究者を目指している人</p> <p>○機械工学に関する高度な専門性を身につけるための努力を惜しまない人</p> <p>○創造力と自主性を備え、先端研究分野に挑戦する意欲を持っている人</p> | <p>○機械工学分野の基礎科目を修得しており、より専門的な知識と技術を高めるための基礎学力と適性を有している。</p> <p>○機械技術者・研究者に必要な基本的な教養と倫理観を身につけている。</p> <p>○日本語、英語に基づいたコミュニケーション能力を有している。</p> | <p>○機械工学の課題を論理的に思考、判断して解決するための能力を持ち、自分の考えや課題の検討結果などを他者に的確に伝えることができる。</p> | <p>○機械工学に関する課題に対し、主体性を持って多様な人々と協働して取り組むことができる。</p> |
| 建築デザイン | <p>○未来へ繋がる建築を実現できる高度な専門知識と国際的な場で活躍できる高い能力の習得を目指している人</p> <p>○技術の分かるデザイナー、デザインの分かる高度専門職業人および研究者を目指している人</p> | <p>○自然科学に関する基礎学力と工学全般の基礎知識の上に建築全般に関わる専門知識を有している。</p> <p>○地球環境に配慮した建築、地域・都市の計画、設計、施工、保全、再生などの基本的技能を身につけている。</p> <p>○日本語、英語に基づいたコミュニケーション能力を有している。</p> | <p>○国際的および持続可能性の視点をもって様々な課題を抽出し、地球環境に配慮しながら解決方法を企画・立案し、自らの思考・判断のプロセス、結論を適切な方法で表現することができる。</p> | <p>○地域や組織の中で他者と協力して相互に啓発しあいながら問題解決に取り組む力を身につけている。</p> <p>○自律的・継続的に学び続ける意欲を持ち、社会的責任感と倫理観のもと、問題解決に向けて積極的・主体的な行動力を身につけている。</p> |

●情報工学専攻

| コース名 | 求める学生像 | 求める能力 | | |
|--------|--|---|--|---|
| | | ①知識・技能 | ②思考力・判断力・表現力等の能力 | ③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 |
| 計算機科学 | <p>○ 計算機科学、特に、人工知能、映像・画像処理、ネットワーク、情報セキュリティ、モデリングに関する高度な専門知識と技能の習得を目指している人</p> <p>○ 国際的な場で活躍できる高い能力を身につけた専門職業人および研究者を目指している人</p> | <p>○ 計算機科学を学ぶために必要な信号処理、情報通信、計測制御、電子・集積回路、ソフトウェア、データ科学などの基本的な知識・技能を身につけている。</p> <p>○ 日本語、英語に基づいたコミュニケーション能力、情報を読み解く力、表現力を身につけている。</p> | <p>○ 計算機科学分野の課題を解決するために必要な思考力と判断力を持ち、思考・判断の過程と導かれた結論を表現する能力を身につけている。</p> | <p>○ 計算機科学分野の課題について、地域や組織の中で多様な人々と主体的にコミュニケーションをとり、協働して学びながら課題の解決に取り組む態度を持っている。</p> |
| 融合システム | <p>○ 電子・集積回路、計測制御、ソフトウェア、また、これらの融合系であるロボット、生体情報システムに関する高度な専門知識と技能の習得を目指している人</p> <p>○ 国際的な場で活躍できる高い能力を身につけた専門職業人および研究者を目指している人</p> | <p>○ 電子・情報・計測制御工学の融合分野を学ぶために必要な信号処理、情報通信、計測制御、電子・集積回路、ソフトウェア、データ科学などの基本的な知識・技能を身につけている。</p> <p>○ 日本語、英語に基づいたコミュニケーション能力、情報を読み解く力、表現力を身につけている。</p> | <p>○ 電子・情報・計測制御工学の融合分野の課題を解決するために必要な思考力と判断力を持ち、思考・判断の過程と導かれた結論を表現する能力を身につけている。</p> | <p>○ 電子・情報・計測制御工学の融合分野の課題について、地域や組織の中で多様な人々と主体的にコミュニケーションをとり、協働して学びながら課題の解決に取り組む態度を持っている。</p> |

1. 実施日程

| | | |
|--------|--|--|
| 出願期間 | 2020年12月7日(月)～12月18日(金) | |
| 受験票発送 | 2021年1月5日(火)頃 | |
| 試験日 | 2021年1月24日(日) ※災害等で試験を予定どおりに実施できない場合は、試験日程の変更を行う可能性があります。試験日程の変更を行う場合は本学ホームページにてお知らせします。 https://www.kitakyu-u.ac.jp/entrance-exam/graduate/env-info.html | |
| 試験会場 | 一般選抜 | 北九州市立大学 ひびきのキャンパス (北九州市若松区ひびきの1番1号) |
| | 社会人特別選抜 | インターネットを利用して自宅などから受験する、オンライン選抜試験とします。 |
| 合格発表日 | 2021年2月5日(金) | |
| 入学手続期間 | 2021年3月9日(火)～3月15日(月) | |

※新型コロナウイルス感染症への対応に伴い、試験日程・実施方法が変更となる可能性があります。変更する場合は、本学ホームページに掲載しますのでご確認ください。

2. 募集人員

| 研究科名 | 専攻名 | コース名 | 募集人員 |
|-----------|----------|----------|------|
| 国際環境工学研究科 | 環境システム専攻 | 資源化学システム | 若干名 |
| | | バイオシステム | 若干名 |
| | | 環境生態システム | 若干名 |
| | 環境工学専攻 | 機械システム | 若干名 |
| | | 建築デザイン | 若干名 |
| | 情報工学専攻 | 計算機科学 | 若干名 |
| | | 融合システム | 若干名 |

3. 出願資格

一般選抜

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者又は 2021 年 3 月 31 日までに大学を卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者及び 2021 年 3 月 31 日までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2021 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2021 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び 2021 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者（平成 17 年文部科学省告示第 138 号、第 169 号、平成 20 年 2 月 29 日 19 文科高第 765 号）
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- (8) 本大学院国際環境工学研究科運営委員会（以下「本研究科委員会」という。）において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22 歳に達した者及び 2021 年 3 月 31 日までに満 22 歳に達する者（注）

(注) 出願資格（8）によって出願しようとする場合は事前に入学資格審査を行いますので、【入学資格審査について】（次ページ）を参照ください。

社会人特別選抜

教育機関又は研究機関・官公庁・企業等において、2021 年 3 月 31 日で 2 年以上の専門に関する勤務経験を有する者で、次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者（平成 17 年文部科学省告示第 138 号、第 169 号、平成 20 年 2 月 29 日 19 文科高第 765 号）
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- (8) 本研究科委員会において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、24 歳に達した者及び 2021 年 3 月 31 日までに満 24 歳に達する者

(注) 出願資格（8）によって出願しようとする場合は事前に入学資格審査を行いますので、【入学資格審査について】（次ページ）を参照ください。

【入学資格審査について】 ※出願資格（８）に該当する者

本研究科委員会が行う入学資格審査は、次のとおり出願前に個別に行います。詳しくは、以下までお問い合わせください。

- (a) 提出書類
 - 入学願書（様式 1）
 - 研究領域等希望調査書（様式 5）
 - 入学資格審査申請書（様式 6）
 - 最終学歴の成績証明書
 - これまでの業績や研究内容を説明できるもの
 - 入学後指導を希望する本学教員の研究指導受入同意書※
※資源化学システムコース、バイオシステムコース志望時のみ、書式任意
- (b) 審査受付期間
2020 年 10 月 22 日（木）まで
- (c) 提出先
北九州市立大学事務局学務課入学試験係
（「4. 出願手続」を参照）
※郵送の場合は、「入学資格審査申請書在中」と朱書きしてください。
- (d) 審査結果の通知
本人に郵送で通知します。

《問い合わせ先》

北九州市立大学事務局学務課入学試験係
〒808-0135 北九州市若松区ひびきの 1 番 1 号
TEL: 093-695-3340 E-mail: nyushi@kitakyu-u.ac.jp

4. 出願手続

出願者は、以下の提出書類を郵送（速達簡易書留）にて、出願期間内に到着するように発送してください。

- (1) 出願期間 2020 年 12 月 7 日（月）～12 月 18 日（金）
- (2) 受付時間（土曜、日曜、祝日を除く）
（窓口受付）平日：午前 8 時 30 分 ～ 午後 4 時 00 分（最終日は午後 5 時 00 分まで）
（郵送）2020 年 12 月 19 日（土）以降に郵送により到着したものについては、
2020 年 12 月 17 日（木）までの消印がある場合に限り受理します。
- (3) 提出・郵送先
北九州市立大学事務局学務課入学試験係
〒808-0135 北九州市若松区ひびきの 1 番 1 号
TEL: 093-695-3340 E-mail: nyushi@kitakyu-u.ac.jp

(4) 提出書類関係 (以下参照)

| 提出書類名 | 説明 |
|---------------------------|--|
| 入学願書 (様式 1) | <p>本学所定の様式を用いて、太枠内に必要事項を記入してください。</p> <p>※縦 4cm×横 3cm サイズ、上半身、無帽、無背景、正面向きで、出願前 3 ヶ月以内に撮影した写真の裏面に氏名を記入の上、所定の欄にしっかり貼付してください。白黒、カラーを問いません。</p> |
| 受験票 (様式 2) | <p>本学所定の様式を用いて、太枠内に必要事項を記入してください。</p> |
| 写真票 (様式 3) | <p>本学所定の様式に必要事項をもれなく記入してください。貼付写真については『入学願書』の説明と同じです。</p> |
| 宛名カード (様式 4) | <p>国内在住者用か海外在住者用のどちらかに、受験票・合格通知・入学手続関係書類等を受け取る郵便番号、住所、氏名 (本人名に限る) を正確に記入してください。</p> |
| 研究領域等希望調査書 (様式 5) | <p><u>出願前に必ず、希望する指導教員に連絡してください。</u></p> |
| 入学希望理由書 | <p>A 4 サイズで 1 枚程度、様式自由。必ず氏名・志望専攻・コース名を記入してください。</p> |
| 受験票送付用封筒 | <p>374 円分の切手を貼付した定形封筒 (長形 3 号) に返信送付先宛名を記入したもの。</p> |
| 出身大学等の成績証明書 | <p>出身大学または在学している大学が発行した成績証明書を提出してください。</p> <p>* 大学を卒業していない者 (大学に在学中の者を除く) は最終学歴の成績証明書を提出してください。</p> <p>* 日本語及び英語表記でない成績証明書は、必ず日本語または英語に翻訳したものを添付してください。</p> |
| 出願資格を証明する a. ~d. のいずれかの書類 | <p>a. 出身大学発行の卒業証明書又は卒業見込証明書 (又は在学証明書)</p> <p>b. 学校教育法第 104 条第 4 項の規定による学位取得見込み者は、在籍する専攻科の短期大学長又は高等専門学校長の発行する下記のいずれかの証明書</p> <p>(1) 専攻科修了見込証明書</p> <p>(2) 学位の授与を申請する予定の証明書</p> <p>c. 独立行政法人大学評価・学位授与機構により既に学位を授与されている者は、学位授与証明書</p> <p>d. 入学資格審査結果通知書 (本研究科委員会において、入学資格事前審査により認定された者)</p> |
| 入学検定料 (¥ 30,000) | <p>郵便局にて 30,000 円の郵便為替を購入し、同封してください。</p> <p>※郵便為替には何も記入しないでください。</p> |

| 提出書類名 | 説 明 |
|---|---|
| <p>※一般選拔出願者のみ ※社会人特別選抜の出願者は提出不要</p> <p>TOEIC(TOEIC L&R)公式認定証、 TOEIC(TOEIC L&R)-IP テストスコアレポート、 TOEFL-iBT スコアレポートのいずれかの書類</p> | <p>一般選拔出願者は提出してください。 出願時から遡って 24 カ月以内に受験して得たものとします。 (5. 選考方法および試験科目参照)</p> <p>①TOEIC(TOEIC L&R)公開テストのスコア利用者は「Official Score Certificate (公式認定証)」の原本と写しを提出してください。</p> <p>②TOEIC(TOEIC L&R)-IP テスト(団体特別受験制度)のスコア利用者は、「スコアレポート(個人成績表)」の原本と写しを提出してください。 *本学主催または本学大学生協主催のものに限り認めます。</p> <p>③TOEFL-iBT のスコア利用者は、「受験者用スコアレポート」の原本と写しを提出してください。 *スコアは、必ず「受験者用スコアレポート」を提出してください。 「公式スコアレポート」は受け付けません。</p> <p>【その他】 *提出された原本は、後日返却します。</p> <p>*出願時に①～③の提出が間に合わない場合は、代わりにその受験票の写しを提出の上、試験前日(土曜、日曜、祝日を除く)までに①～③のいずれかの原本と写しを提出してください。</p> <p>*出願時にスコアを提出しているものに限り、試験前日(土曜日、日曜日、祝日を除く)までに高得点のスコアを提出することで、スコアの更新ができます。</p> |
| <p>※外国籍のみ 住民票</p> | <p>出願 1 ヶ月前以内に作成したもの</p> |

※**社会人特別選抜**の志願者はさらに下記の書類が必要となります。

| 提出書類名 | 説 明 |
|------------------|--|
| <p>在 職 証 明 書</p> | <p>勤務先が発行したもの(様式任意) *勤続経験 2 年以上であることが証明できるもの</p> |

【出願上の注意】

- ・ 出願受付後は、いかなる事情があっても出願内容の変更及び入学検定料の返還には応じられません。
- ・ 虚偽の記載があった場合は、たとえ合格しても入学許可を取り消します。
- ・ いったん正当に受理した出願提出書類等は返却できません。
- ・ 2021 年 3 月までに**出願資格要件を満たす見込みで受験し合格した者が、所定の要件を満たすことができなかった場合は、入学許可を取り消します。**

【身体に障害を有する場合等の受験上の特別措置について】

身体に障害を有するなど、受験上及び就学上特別な配慮を必要とする入学志願者は、その措置を講ずるための審査が必要となりますので、事前に相談のうえ出願 2 週間前までに必要書類を添えて申し出てください。審査の結果、必要と判断された措置の内容を通知しますので、その通知書を添えてお願いいただくこととなります。

《問い合わせ先》

北九州市立大学事務局学務課入学試験係

〒808-0135 北九州市若松区ひびきの 1 番 1 号

TEL: 093-695-3340 E-mail: nyushi@kitakyu-u.ac.jp

【入学検定料の免除について】

北九州市立大学では、令和 2 年 7 月豪雨、令和元年台風第 19 号、平成 30 年北海道胆振東部地震、平成 30 年 7 月豪雨、平成 28 年熊本地震に伴う被災者の経済的負担を軽減し、志願者の進学機会の確保を図るため、2020 年度に実施する入学試験において、次のとおり入学検定料免除の特例措置を実施しています。

連絡先 北九州市立大学学務課入学試験係 TEL : 093-695-3340

ホームページアドレス

<https://www.kitakyu-u.ac.jp/entrance-exam/tuition/absolution.html>



【個人情報の取扱いについて】

本学が所有する個人情報は、関係法規に基づき慎重に取扱い、以下の目的以外で利用すること、または第三者に提供することはありません。

- ・ 志願者の氏名、生年月日、連絡先などの個人情報は、入学者選抜、合格発表、入学手続、調査研究及びこれらに付随する業務の遂行に利用します。
- ・ 合格者の個人情報は、入学手続者に対する入学前指導、入学後の教務関係、学生支援関係、授業料徴収関係などに関する業務のために利用します。

5. 選考方法および試験科目

【選考方法】

試験科目結果、出願書類等を総合して行います。(社会人特別選抜の選考については、社会人としての経歴・研究歴および研究内容を特に重視した選考を行います。)

【試験科目】

◆環境システム専攻

○資源化学システムコース

| 選抜区分 | 試験科目 | 時 間 |
|---------|--|-------------|
| 一般選抜 | 英語(注1) | — |
| | 専門科目(環境資源工学、化学から1科目選択) (注2・注3) | 10:30~12:00 |
| | 面接 | 13:00~ |
| 社会人特別選抜 | 口頭試問・面接(これまでの研究成果の発表および当大学院での研究計画の発表を含める) (ファイル共有機能などによる発表形式) | 別途連絡 |

(注1) 一般選抜出願者については、TOEIC(TOEIC L&R)スコアまたはTOEFL-iBTスコアの提出を課します。

(注2) 関数電卓を使用できますが、試験当日に本学が貸与する物のみ使用可能です。

(注3) 専門科目は「環境資源工学」、「化学」から1科目を選択してください。

※入学願書(様式1)で選択できます。

○バイオシステムコース

| 選抜区分 | 試験科目 | 時 間 |
|---------|---------------------------------------|-------------|
| 一般選抜 | 英語(注1) | — |
| | 専門科目(有機化学、無機・物理化学、生物科学から1科目選択)(注2・注3) | 10:30~11:30 |
| | 面接 | 13:00~ |
| 社会人特別選抜 | 口頭試問・面接 (ファイル共有機能などによる発表形式) | 別途連絡 |

(注1) 一般選抜出願者については、TOEIC(TOEIC L&R)スコアまたはTOEFL-iBTスコアの提出を課します。

(注2) 関数電卓を使用できますが、試験当日に本学が貸与する物のみ使用可能です。

(注3) 専門科目は「有機化学」、「無機・物理化学」、「生物科学」から1科目を選択してください。

※入学願書(様式1)で選択できます。

○環境生態システムコース

| 選抜区分 | 試験科目 | 時 間 |
|-------------|--|-------------|
| 一般選抜 | 英語（注1） | — |
| | 専門科目（環境マネジメント） | 10：30～11：30 |
| | 口頭試問・面接 | 13：00～ |
| 社会人 特別選抜 | 口頭試問・面接（これまでの研究成果の発表および当大学院での研究計画の発表を含める） （ファイル共有機能などによる発表形式） | 別途連絡 |

（注1）一般選抜出願者については、TOEIC(TOEIC L&R)スコアまたは TOEFL-iBT スコアの提出を課します。

◆環境工学専攻

○機械システムコース

| 選抜区分 | 試験科目 | 時 間 |
|-------------|--------------------------------|-------------|
| 一般選抜 | 英語（注1） | — |
| | 専門科目 （材料力学・機械力学・流体力学・熱力学） | 10：30～12：30 |
| | 面接 | 14：00～ |
| 社会人 特別選抜 | 口頭試問・面接 （ファイル共有機能などによる発表形式） | 別途連絡 |

（注1）一般選抜出願者については、TOEIC(TOEIC L&R)スコアまたは TOEFL-iBT スコアの提出を課します。

○建築デザインコース

| 選抜区分 | 試験科目 | 時 間 |
|-------------|--|-------------|
| 一般選抜 | 英語（注1） | — |
| | 専門科目（建築構造、建築材料・施工、建築計画、建築環境・設備に関する基礎知識を問う必須問題と、「構造・材料・施工」、「計画・設計」、「環境・設備」の3科目から1科目を選択する）（注2） | 10:30～12:30 |
| | 口頭試問（注3）・面接 | 14：00～ |
| 社会人 特別選抜 | 口頭試問（注3）・面接 （ファイル共有機能などによる発表形式）（注4） | 別途連絡 |

（注1）一般選抜出願者については、TOEIC(TOEIC L&R)スコアまたは TOEFL-iBT スコアの提出を課します。

（注2）専門科目は「構造・材料・施工」、「計画・設計」、「環境・設備」から1科目を選択してください。

※入学願書（様式1）で選択できます。

（注3）口頭試問はこれまでの研究や大学院での研究計画に関連した質疑応答を行います。
※建築計画・設計系の志願者は面接時にポートフォリオ（これまでの課題・コンペ作品や活動記録をファイルにまとめたもの。書式・形式自由）を持参すること。

（注4）発表に必要なデータを用意してください。

◆情報工学専攻

○計算機科学コース（注1）

○融合システムコース（注1）

| 選抜区分 | 試験科目 | 時間 |
|-------------|--|-------------|
| 一般選抜 | 英語（注2） | — |
| | 数学（線形代数、微分積分、常微分方程式、離散数学の範囲から出題）（注3） | 10：30～12：30 |
| | 面接（注4） | 14：00～ |
| 社会人 特別選抜 | 口頭試問・面接（これまでの研究成果の発表および当大学院での研究計画の発表を含める） （ファイル共有機能などによる発表形式） | 別途連絡 |

（注1）研究室配属の関係上、情報工学専攻内の希望外のコースに配属されることがあります。

（注2）一般選抜出願者については、TOEIC(TOEIC L&R)スコアまたはTOEFL-iBTスコアの提出を課します。

（注3）線形代数、微分積分、常微分方程式については、EMaT（工学系数学統一試験）の出題範囲に準じます。

（注4）卒業研究およびそれに関する基礎知識の口頭試問を実施する場合があります。

6. 試験会場 ※一般選抜受験者のみ

北九州市立大学 ひびきのキャンパス（北九州市若松区ひびきの1番1号）

●最寄り駅：JR 折尾駅

折尾駅西口バス停より北九州市営バス乗車（約 20 分）⇒学研都市ひびきのバス停下車

※市営バス 33 番・35 番・63 番「学研都市」行き、64 番「二島駅」行き



アクセスマップ



市営バス時刻表検索

7. 受験上の注意

- (1) 受験には必ず受験票を持参してください。
受験票が試験日の 3 日前までに未着の場合は、学務課入学試験係へご連絡ください。
- (2) 遅刻は、試験開始後 20 分までに試験室に入室した者に限り認めます。
ただし、面接の遅刻は認めません。
- (3) 定期に運行している公共交通機関の大幅な遅れにより試験開始時刻に遅刻した場合は、所定の試験時間を確保して試験を行います。その際、公共交通機関を利用したことの証明のため、乗車時刻、到着時刻等をあらかじめメモしておいてください。
- (4) 筆記具、腕時計（計算機能、翻訳機能、辞書機能等の多機能時計は厳禁）は持参してください。貸し出しは一切できません。
- (5) 自家用車でのご来場は固くお断りいたします。※駐車場はご用意できません。
- (6) 試験会場への入退場は、ひびきのキャンパスN棟 1 階ウッドデッキ側の出入口のみです。
試験当日は、案内表示に従ってご来場ください。

8. 合格発表

以下日時に、合格者の受験番号をホームページに掲載するとともに、合格者のみに合格通知を送付します。なお、受験者本人であっても、電話による可否に関する照会には一切応じられません。

| | |
|--------|--|
| 合格発表日時 | 2021 年 2 月 5 日（金）午前 10 時 |
| 合格発表場所 | 北九州市立大学ホームページ https://www.kitakyu-u.ac.jp/entrance-exam/pass-information.html |

9. 入学手続

入学手続に関する詳細については「合格通知」送付の際にお知らせいたします。

| | |
|--------|--------------------------------|
| 入学手続期間 | 2021 年 3 月 9 日（火）～ 3 月 15 日（月） |
|--------|--------------------------------|

- (注 1) いったん納入された入学金は、いかなる理由があっても返還できません。
- (注 2) 期間内に入学手続を完了しなかった場合は、入学辞退として取扱います。
理由のいかなを問わず、入学手続期間の延長は行いません。
- (注 3) 期間内に、入学金の納入、必要書類の提出を完了した者に入学を許可します。
- (注 4) 入学手続には、受験票が必要です。大切に保管しておいてください。

10. 入学に関する経費 (注1)

| 種 別 | 金 額 | 備 考 |
|-------------------|--------------------|--------------------|
| 入 学 金 | 北九州市内居住者 282,000 円 | (注2) |
| | 北九州市外居住者 423,000 円 | |
| 同 窓 会 費 | 50,000 円 | 本学卒業生で、既に納めている方は不要 |
| 後 援 会 費 | 20,000 円 | |
| 学生教育研究 災害傷害保険料 | 2 ヶ年分 1,750 円 | |
| 学研災付帯賠償 責任保険料 | 2 ヶ年分 680 円 | |

(注1) 経費は現行(2020年度入学者)の金額です。変更されることがあります。

(注2) 北九州市内居住者とは、入学する本人又はその配偶者もしくは2親等内の親族が、入学の前年度において北九州市の市民税納税義務者(又は、市民税非課税者)であり、かつ入学金納入のときまで引き続き北九州市内に住所を有する者をいいます。なお、「入学の前年度において北九州市の市民税納税義務者(又は、市民税非課税者)」であるためには、2020年1月1日現在北九州市に在住していることが必要です。
※同窓会費・後援会費・保険料については、入学の必須条件ではありません。

11. 授業料

年間授業料 535,800 円

- (1) 現行の金額です。在学中に授業料及び納入方法等の改定が行われた場合には、改定時から適用されます。
- (2) 授業料は、納入期限日(当日が金融機関休業日の場合は、翌営業日)に口座振替で納入していただきます。

12. 長期履修学生制度

国際環境工学研究科では、社会人学生の支援として長期履修学生制度を導入しています。長期履修学生制度とは、職業を有している等の事情によって、標準修業年限を超えて、計画的に教育課程を履修する事を認める制度です。博士前期課程においては2年・博士後期課程においては3年を限度とし、1年単位で延長が認められます。

この制度を適用する学生の授業料総額は、標準修業年限で卒業する学生が納める授業料総額と同額になります。

1 3. 安全保障輸出管理について

北九州市立大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「北九州市立大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受け入れに際して厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、ご注意ください。

【参考】 URL : <http://www.meti.go.jp/policy/ampo/>

1 4. その他

《入学に際しての留意事項》

外国籍の方で、入学手続き後に在留資格が「留学」でない場合は、速やかに法務省入国管理局で在留資格を「留学」に変更してください。なお、在留資格が「留学」でない場合は、留学生に対する各種奨学金の対象にならないことがあります。

《授業科目の概要》

博士前期課程 修了に必要な単位は 30 単位以上

《内訳》

- ・ 共通科目と基礎科目から 4 単位以上。ただし、共通科目から 2 単位以上
- ・ 専門科目から 18 単位以上。ただし所属するコースの専門科目から 14 単位以上
- ・ 特別研究科目 8 単位（特別研究）

【各専攻共通科目】

| 《共通科目》（各 2 単位） |
|--------------------------|
| 企業環境マネジメント論 |
| 知的財産の生産と活用 |
| Academic Presentation I |
| Academic Presentation II |
| 安全倫理（注 1） |
| 環境原論 |
| 学外特別研修（インターンシップ） |

（注 1）環境生態システムコースでは、専門科目となります。

【環境システム専攻】

| | |
|----------|-----------------------|
| 資源化学システム | 《基礎科目》 (各2単位) |
| | 資源化学システム基礎Ⅰ (化学プロセス) |
| | 資源化学システム基礎Ⅱ (先進マテリアル) |
| | 資源化学システム基礎Ⅲ (環境プロセス) |
| | 《専門科目》 (各2単位) |
| | エネルギー化学 |
| | 化学反応工学 |
| | 無機材料工学 |
| | 触媒反応化学 |
| | 分光分析論 |
| | 分離精製工学 |
| | 固体材料化学 |
| | プロセス設計学 |
| | 先端材料システム |
| | 高分子材料化学 |
| | 環境化学 |
| | 大気環境工学 |
| | 資源循環技術 |
| | 水圏環境工学 |
| | 地圏環境修復 |
| | リサイクル工学 |
| | 資源化学システム特論Ⅰ |
| | 資源化学システム特論Ⅱ |
| アジアの環境問題 | |
| 省資源衛生工学 | |
| バイオシステム | 《基礎科目》 (各2単位) |
| | バイオシステム基礎Ⅰ (生命材料工学) |
| | バイオシステム基礎Ⅱ (生物生態工学) |
| | 《専門科目》 (各2単位) |
| | 環境生物学 |
| | 高分子物性論 |
| | 計算化学 |
| | 生体材料論 |
| | 生態システム論 |
| | 生物センサー工学 |
| | 微生物機能学 |
| | 環境応答生理学 |
| | バイオシステム特別講義 |
| | バイオシステム講究Ⅰ |
| | バイオシステム講究Ⅱ |
| 分子細胞生物学 | |

【環境システム専攻】

| | |
|---------------|--------------|
| 環境生態システム | 《基礎科目》（各2単位） |
| | 環境生態システム基礎 |
| | 《専門科目》（各2単位） |
| | 環境経済論 |
| | エネルギー環境工学 |
| | 環境経営システム論 |
| | 環境情報システム論 |
| | 都市環境評価・計画論 |
| | 安全倫理 |
| | 健康リスク学 |
| | 持続可能発展論 |
| | アジアの環境問題 |
| | 省資源衛生工学 |
| | 環境生物学 |
| | 生態システム論 |
| 微生物機能学 | |
| 環境応答生理学 | |
| 《特別研究科目》（8単位） | |
| 特別研究 | |

【環境工学専攻】

| | |
|----------------|------------------------|
| 機械システム | 《基礎科目》 (各2単位) |
| | 機械システム基礎Ⅰ (エネルギーシステム) |
| | 機械システム基礎Ⅱ (設計加工システム) |
| | 《専門科目》 (各2単位) |
| | 流体力学特論 |
| | 燃焼工学特論 |
| | 流動光計測特論 |
| | 伝熱工学特論 |
| | 熱力学特論 |
| | 制御工学特論 |
| | メカトロニクス特論 |
| | 設計工学特論 |
| | 加工学特論 |
| | 材料力学特論 |
| | 機械要素設計特論 |
| | システム工学特論 |
| | 機械力学特論 |
| 先端工学特論 | |
| 建築デザイン | 《基礎科目》 (各2単位) |
| | 建築デザイン基礎Ⅰ (居住環境設計学) |
| | 建築デザイン基礎Ⅱ (環境空間構造保全工学) |
| | 建築デザイン基礎Ⅲ (都市建築エネルギー学) |
| | 《専門科目》 (各2単位) |
| | 建築デザインプログラム |
| | 環境共生都市づくり論 |
| | 世代間建築特論 |
| | 環境空間設計学 |
| | 建築生産管理論 |
| | 環境調和型材料工学特論 |
| | 構造解析学 |
| | 建築材料特論 |
| | 建築構造設計 |
| | 耐震構造学 |
| | 環境設備システム論 |
| | 建築・都市エネルギー論 |
| | 音と光の環境デザイン特論 |
| | 熱と空気の環境デザイン特論 |
| | 建築エンジニアリングプラクティス |
| | 建築実務インターンシップ (4単位) |
| 低炭素建築都市デザイン論 | |
| 《特別研究科目》 (8単位) | |
| 特別研究 | |

【情報工学専攻】

| ≪専門科目(コース共通)≫ (各2単位) | |
|----------------------|-------------------|
| 組込みソフトウェア | |
| ソフトウェア検証論 | |
| ソフトウェア工学概論 | |
| ソフトコンピューティング | |
| 適応信号処理 | |
| パターン認識応用 | |
| 情報セキュリティ論 | |
| 動的システム論 | |
| 組み合わせ最適化論 | |
| システム制御理論 | |
| 視覚情報処理 | |
| スパースモデリング | |
| 感覚測定概論 | |
| 計算機科学 | ≪基礎科目≫ (各2単位) |
| | 計算機科学基礎 (計算機科学) |
| | ≪専門科目≫ (各2単位) |
| | 信号解析 |
| | 画像処理 |
| | ネットワークアーキテクチャ |
| | 情報通信論 |
| 融合システム | ≪基礎科目≫ (各2単位) |
| | 融合システム基礎 (融合システム) |
| | ≪専門科目≫ (各2単位) |
| | 移動通信 |
| | VLSI 物理設計 |
| | 組込みハードウェア |
| | テスト容易化設計 |
| 医用工学基礎 | |
| ≪特別研究科目≫ (8単位) | |
| 特別研究 | |

《各専攻における履修コースの教育研究内容・研究指導教員》

※希望する研究指導教員に相談をしていない者は、必ず出願前に各コースのメールアドレスに問い合わせること。

※指導教員等は変更となる場合があります。

※希望する研究指導教員については、各コース長にご相談ください。
コース長のメールアドレスは以下の通りです。

《問合せ先》

○環境システム専攻

| | |
|-------------|------------------------|
| 資源化学システムコース | shigen@kitakyu-u.ac.jp |
| バイオシステムコース | biosys@kitakyu-u.ac.jp |
| 環境生態システムコース | envsys@kitakyu-u.ac.jp |

○環境工学専攻

| | |
|-----------|--------------------------|
| 機械システムコース | kikai@kitakyu-u.ac.jp |
| 建築デザインコース | kenchiku@kitakyu-u.ac.jp |

○情報工学専攻

| | |
|-----------|------------------------|
| 計算機科学コース | jyohou@kitakyu-u.ac.jp |
| 融合システムコース | |

環境システム専攻

【資源化学システムコース】

| 教員名 | 研究テーマ・領域 |
|------------------------------|--|
| 藍川 昌秀 Aikawa Masahide | 大気科学、大気化学、大気汚染・酸性沈着に関する調査・研究 大気汚染物質と降水の物理化学的相互作用に関する研究 |
| 秋葉 勇 Akiba Isamu | 高分子合成・構造・物性 |
| 朝見 賢二 Asami Kenji | 固体触媒を用いる新規なクリーン燃料合成プロセスの開発 新燃料を用いるエネルギー化学システムの開発 |
| 天野 史章 Amano Fumiaki | 光触媒・光電気化学に関する研究、光機能性材料や触媒の開発 太陽エネルギーの化学的変換システムの開発 |
| 今井 裕之 Imai Hiroyuki | ナノスケールの空間を機能化した材料の開発および化学反応への応用 多様な炭素資源から化学品製造のための反応プロセスの設計 |
| 大矢 仁史 Ohya Hitoshi | 有価物の回収を目的としたリサイクル技術開発 リサイクル技術開発とそのシステム評価に関する研究 |
| 鈴木 拓 Suzuki Takuya | 新規酸化物光触媒の開発と評価 X線分析（粉末X線回折法を用いた構造解析、EXAFS） |
| 寺嶋 光春 Terashima Mitsuharu | 水資源循環利用プロセスの新技術の研究開発 用排水処理システムのモデル化とシミュレーション利用技術の研究 |
| 西浜 章平 Nishihama Shohei | 有価廃棄物からのレアメタルの分離回収プロセス 水中の有害汚染物質の分離除去プロセス |
| 安井 英斉 Yasui Hidenari | 微生物を用いた廃棄物系バイオマスの新資源化技術ならびに水処理プロセスの開発 廃棄物・水処理プロセスに関わるコンピューティングと数学モデルの開発 |
| 山本 勝俊 Yamamoto Katsutoshi | 新規多孔質材料の開発と触媒への応用 有機-無機ハイブリッド型多孔体の創製 |
| 吉塚 和治 Yoshizuka Kazuharu | リサイクル・希薄資源からのレアメタルの分離回収システムの開発 環境中からの有害物質の分離除去・無害化システムの開発 |
| 黎 暁紅 Li Xiaohong | 触媒化学、バイオマスなどカーボン資源から石油代替燃料の合成 Catalytic chemistry, |
| 李 丞祐 Lee Seung-Woo | 有機・無機ナノハイブリッド膜 有機・無機ナノハイブリッド材料を用いた高感度センサ開発 匂いによる疾病診断技術および診断用デバイスの開発 |

【バイオシステムコース】

| 教員名 | 研究テーマ・領域 |
|--------------------------------|---|
| 磯田 隆聡 Isoda Takaaki | 生物センサの開発と応用 1. 野菜や肉、魚の食品鮮度測定 2. 唾液や尿による医療診断 |
| 上江洲 一也 Uezu Kazuya | 生物の特異的応答を利用した新規バイオセンサーの創製 細胞内情報経路を標的としたリン酸化タンパク質分離材料の創製 計算化学的アプローチによる分子認識材料の設計 生態系への影響を大幅に低減した林野火災用泡消火剤の開発 |
| 河野 智謙 Kawano Tomonori | DNA、ペプチド、細胞を利用したバイオセンシング、マイクロロボティクス、バイオエレクトロニクス LED を利用した植物工場技術開発と植物と微生物の環境応答の研究 |
| 木原 隆典 Kihara Takanori | 幹細胞を用いた組織形成研究 骨石灰化形成過程の解明 細胞の物理解析 |
| 櫻井 和朗 Sakurai Kazuo | 多糖・DNA 複合体に関する基礎研究と遺伝子キャリアーへの応用 シンクロトロンX線を用いた複合材料・ナノ材料の構造解析 |
| 中澤 浩二 Nakazawa Koji | 細胞パターンニング技術および細胞マイクロチップの開発 培養微小環境と細胞分化特性の解析 |
| 原口 昭 Haraguchi Akira | 生態系における生物機能解析 陸水学 植物学 |
| 望月 慎一 Mochizuki Shinichi | 薬物送達システム (DDS) の開発 糖鎖工学を利用した新規バイオマテリアルの開発 |
| 森田 洋 Morita Hiroshi | 地域農作物の生理的機能性と新規用途開発 室内カビ・ダニの新規制御法に関する研究 混合培養麹による清酒醸造に関する研究 液体麹による酒類醸造に関する研究 |
| 柳川 勝紀 Yanagawa Katsunori | 難培養性微生物の生理・生態学 生物地球化学的物質循環 環境動態解析 |

【環境生態システムコース】

| 教員名 | 研究テーマ・領域 |
|---------------------------|---|
| 加藤 尊秋 Kato Takaaki | 環境政策の評価、社会的なリスク削減のための管理、教育、訓練手法 |
| 辻井 洋行 Tsuji Hiroyuki | ESG 経営に関する研究 組織間連携に関する研究 |
| 藤山 淳史 Fujiyama Atsushi | エネルギーマネジメントシステムに関する研究 環境分野での情報技術の活用に関する研究 |
| 二渡 了 Futawatari Toru | 地域環境マネジメントシステムに関する研究 東アジア地域における経済発展と環境問題に関する比較研究 |
| 松本 亨 Matsumoto Toru | 循環経済システムの構築と評価に関する研究 都市エネルギーマネジメントに関する研究 市民の環境意識構造と行動変容に関する研究 アジアの都市環境マネジメントに関する研究 |

環境工学専攻

【機械システムコース】

| 教員名 | 研究テーマ・領域 |
|------------------------------|---|
| 泉 政明 Izumi Masaaki | 燃料電池の性能・耐久性向上に関する研究 燃料電池性能の計測法に関する研究 |
| 井上 浩一 Inoue Koichi | 次世代宇宙機用沸騰・二相流熱システムに関する基礎研究 火力原子力発電システム用熱交換器の高性能化に関する研究 パワーエレクトロニクス冷却技術に関する研究 |
| 岡田 伸廣 Okada Nobuhiro | 画像を用いる三次元計測を中心としたロボット・メカトロニクス技術の 開発とその応用に関する研究 駆動部を持たないレーザー光走査装置の開発 複数の自己組織化マップの協調学習に関する研究 |
| 金本 恭三 Kanamoto Kyozo | パワーエレクトロニクスモジュールの信頼性評価・改善・モニタリング 技術に関する研究 パワーエレクトロニクスモジュールの冷却技術に関する研究 |
| 清田 高德 Kiyota Takanori | 安全で省エネルギーな機械システム制御法の開発と応用に関する研究 パワーアシストシステムの開発 |
| 佐々木 卓実 Sasaki Takumi | 構造非線形および材料非線形を利用した除振要素に関する研究 機械・構造物のための振動抑制技術の開発 |
| 趙 昌熙 Cho Changhee | 生体機械工学、バイオトライボロジーに関する研究 臨床用人工関節の長寿命化・高性能化に関する研究 |
| 長 弘基 Cho Hiroki | 形状記憶合金の物性研究 形状記憶合金を用いた低温排熱回収システムの研究開発 形状記憶合金を用いたアクチュエータ・医療機器の研究開発 |
| 仲尾 晋一郎 Nakao Shinichiro | 衝撃波と境界層の干渉流れ場の CFD 解析に関する研究 衝撃波を伴う流れ場へのレーザー干渉法の適用に関する研究 |
| 宮國 健司 Miyaguni Takeshi | 高効率で自己起動性に優れた小型風車の開発 ゴミ清掃船のゴミ回収システムに関する研究 |
| 宮里 義昭 Miyazato Yoshiaki | 超音速流れのデジタルホログラフィ計測法に関する研究 超音速流れのシュリーレントモグラフィ計測法に関する研究 |
| 村上 洋 Murakami Hiroshi | 極小径光ファイバプローブを用いた微細三次元形状精度測定装置の開 発 工作機械の知能化に関する研究 工具状態監視機能を有する超高速マイクロエアタービンスピンドル の開発 |
| 吉山 定見 Yoshiyama Sadami | イオンセンサを用いた燃焼センシング法の開発と応用に関する研究 予混合火炎の計測に関する研究 |

【建築デザインコース】

| 教員名 | 研究テーマ・領域 |
|--|--|
| 安藤 真太郎 Ando Shintaro | 超高齢化社会に対応する虚弱予防型住環境の検証 健康寿命を延伸するコミュニティに関する研究 |
| 高 偉俊 Gao Weijun | 建築・都市環境・計画・設計 建築・都市エネルギー・資源計画 アジア都市環境の研究 |
| 城戸 将江 Kido Masae | 鋼およびコンクリート充填鋼管構造の耐震設計法 鋼およびコンクリート充填鋼管構造の安定設計法 |
| 小山田 英弘 Koyamada Hidehiro | 建築物および建設工事中の安全 建築物の維持管理と各種建築材料の再利用 暑中コンクリート工事 |
| 白石 靖幸 Shiraishi Yasuyuki | 建築都市空間における温熱・空気環境制御 建築設備一体化技術の最適制御 複合物理モデリングを活用した建築設備の最適設計 |
| 陶山 裕樹 Suyama Hiroki | 産業廃棄物の建材リサイクル コンクリートの物性に影響を与える粉体混和材の因子 コンクリートの外観の定量化 |
| 高巢 幸二 Takasu Koji | 高強度・高耐久性セメントフリーコンクリートの研究 再生材料等を使用した高性能コンクリートの研究 建築材料としての副産物系粉体の改質技術の開発 建築材料の性能考慮型環境影響評価 |
| デワンカー バートジュリアン DEWANCKER, Bart Julien | 都市計画に関する研究 環境共生建築・都市デザインに関する研究 ランドスケープ、都市及び建物緑化に関する研究 |
| 福田 展淳 Fukuda Hiroatsu | 建築デザイン、歴史的建築物に関する研究 建築計画学、都市計画学 低環境負荷のための建築設計・都市環境設計 |
| 藤田 慎之輔 Fujita Shinnosuke | 建築構造デザイン 建築構造最適化・形態創生 微分幾何学 シェル・空間構造 |
| 保木 和明 Hoki Kazuaki | 鉄筋コンクリート構造 既存建物の耐震性評価法・補強設計法 耐震工学 |
| 龍 有二 Ryu Yuji | 建築における自然エネルギー利用 高齢者福祉施設の温熱環境と入居者の生理・心理 |

情報工学専攻

【計算機科学コース】

| 教員名 | 研究テーマ・領域 |
|---------------------------------------|---|
| 上原 聡 Uehara Satoshi | 情報理論、符号理論、情報セキュリティ：数学的背景に基づく符号の構成法や性能評価に関する研究 |
| 京地 清介 Kyochi Seisuke | 音声・画像・映像等のデジタル信号を、より効率良く処理（取得／解析／加工／伝送等）するための基盤的なデジタル信号処理手法と応用に関する研究 |
| 古閑 宏幸 Koga Hiroyuki | コンピュータネットワークのアーキテクチャや構築・運用技術、トラヒックエンジニアリング技術に関する研究 |
| 佐藤 敬 Satoh Takashi | 情報セキュリティ：特に暗号理論とその応用に関する研究 次世代型情報通信ネットワーク：特に分散システムおよびインターネット運用技術に関する研究 |
| 孫 連明 Son Renmei (Sun Lian Ming) | 制御と信号処理分野において、数学モデルを構築するシステム同定の方法論、制御系設計と適応信号処理への応用に関する研究 |
| 永原 正章 Nagahara Masaaki | 数理情報学（人工知能、自動制御、機械学習など）および、それらを応用したロボット、ドローン、自動車の開発や画像処理、音楽音響処理などの研究 |
| 堀口 和己 Horiguchi Kazumi | 線形システムの実現と低次元化に関する研究 低次元制御器を用いた制御システムの設計に関する研究 システム同定に関する研究 |
| 松岡 涼 Matsuoka Ryo | 数理モデリング、人工知能、最適化／凸解析技術を基礎にした、信号処理、画像処理、コンピュータビジョンに関する研究 |
| 山崎 恭 Yamazaki Yasushi | 生体認証（バイオメトリクス）を中心とした安心・安全・便利をキーワードとする情報セキュリティ技術、パターン認識技術に関する研究開発 |

【融合システムコース】

| 教員名 | 研究テーマ・領域 |
|------------------------------|---|
| 佐藤 雅之 Sato Masayuki | 心理物理学の実験手法を用いた人間の視覚情報処理メカニズムの解明、特に、両眼立体視による空間知覚、眼球運動時の視野統合機構に関する研究 |
| 杉原 真 Sugihara Makoto | VLSI や組込システムを対象とした設計技術に関する研究、及び自動車 I T システム設計技術に関する研究 |
| 高島 康裕 Takashima Yasuhiro | 最適化アルゴリズム, VLSI 設計自動化技術, 量子アルゴリズムを含む高性能計算アルゴリズム実装 |
| 中武 繁寿 Nakatake Shigetoshi | アナログとデジタル混載集積回路の自動設計技術、低電力化技術、及び医療・防災分野におけるセンサシステムの集積技術に関する研究 |
| 早見 武人 Hayami Takehito | 電気・光を用いた神経機能に関わる医用検査、手術支援、治療技術、及び人間の行動特性を調べるための心理学機器の研究 |
| 松田 鶴夫 Matsuda Tsuruo | 生体情報獲得 メカトロニクス制御 脳神経磁気・電気刺激 リハビリテーション応用技術 等に関する研究 |
| 山崎 進 Yamazaki Susumu | 下記に関する研究と実践: 1. コンパイラ, OS カーネル, VLSI 設計を用いたシステムの高性能化・並列化・低消費電力化 2. 1 を活用した暗号処理, 画像処理, 機械学習, 数値演算の高速化 3. 1,2 を活用した社会実装, 特に人工衛星から得られる画像の活用, 個と社会全体の調和を図るシステム |